

と う ぐ み



1年生を迎える会

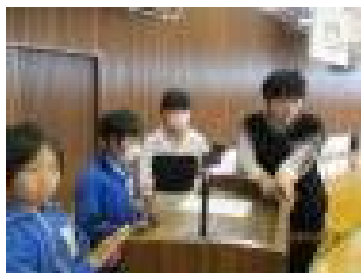
-1年生の皆さん、ようこそ高島小へ！-

4月19日（金）の朝行事の時間に、児童会本部の企画・運営による「1年生を迎える会」が開催されました。

23名の1年生が体育館に入場すると、会場全体から大きな拍手が沸き起こりました。そして、児童会長のTさんからからの歓迎のあいさつ、5・6年生からのプレゼント、参加者全員での校歌の合唱、1年生代表のAさんからのお礼の挨拶など、和やかで温かい会を行うことができました。

全校児童で1年生を温かく迎え入れることができたこの会を通して1年生は高島小学校の一員としての喜びを、2年生から6年生は進級への期待と1年生の先輩としての自覚を新たにすることができたことと思います。

児童会本部の皆さん、2年生から6年生までの皆さん、1年生のために素敵な会を開いていただき、ありがとうございました。



保護者面談、お世話になっております

5月1日（水）から10日（金）までの日程で、保護者面談を実施いたしております。

昨年度までは家庭訪問を実施しておりましたが、担任と保護者様との面談時間をより確保できるよう、学校での面談に移行させていただきました。限られた時間内での面談となりますので、ご要望やご質問等ございましたら、事前に担任までお知らせいただけますと幸いです。また、いただいたご意見等は、今後の学級経営や学校運営の参考とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。



5月の行事予定

日	曜	行事・その他
1	水	歯科検診4～6年、4時間授業 保護者面談（～10日）
2	木	4時間授業
3	金	「憲法記念日」
4	土	「みどりの日」
5	日	「こどもの日」 
6	月	振替休日
7	火	4時間授業
8	水	歯科検診1～3年、4時間授業
9	木	4時間授業
10	金	4時間授業
11	土	
12	日	邑楽館林陸上記録会
13	月	委員会
14	火	児童集会、NINO検査
15	水	清潔検査、集金日
16	木	やまびこ運動、SC 3年自転車教室準備
17	金	1年交通安全教室、集金日 3年自転車教室、はくちょう号
18	土	
19	日	
20	月	クラブ 
21	火	縦割り活動
22	水	集金日 前期計画訪問、4時間授業
23	木	プール清掃5年、QU3～6年
24	金	トレーニング、プール清掃6年 青パト講習会、引き渡し訓練
25	土	
26	日	
27	月	クラブ、内科検診4～6年
28	火	JRC登録式、内科検診1～3年
29	水	集金日
30	木	読み聞かせ、尿検査2次
31	金	朝礼（プール開き）、尿検査2次

授業参観



4月26日(金)の授業参観・学級懇談会、大変ありがとうございました。多くの保護者の皆様にご来校いただき、感謝申し上げます。

新しい学年のお子様の様子はいかがでしたか。本校は単学級が多いため、現4年生を除けばクラスのメンバーはほとんど変わりません。しかし、担任の先生や指導助手等の先生方が替わることにより、学級の雰囲気がいぶんと変わったと感じられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

子どもたちも、私たち教職員も、保護者の皆様に可能な限りご来校いただき、子どもたちが頑張っている姿を少しでも多く見ていただき、認めていただきたいと考えております。これからも、様々な機会を捉えてご来校ください。皆様のご来校を心よりお待ちしております。



令和6年度のスタートから一ヶ月!! - 生活リズムは整っていますか? -

令和6年度のスタートから1か月が経ちました。子どもたちが新たな気持ちで学校生活に取り組んでいる様子を見ると、新年度が始まったことを実感します。

その一方で、子どもたちの様子で気になることもあります。そのひとつが、生活リズムの乱れです。多くの子どもたちは規則正しい生活を送り、健康に過ごしているのですが、数名の子どもが体調不良を訴え、欠席や保健室での休息を余儀なくされています。話を聞いてみると、その中の一部の子どもたちが、長時間ゲームをしていることが確認できました。



保護者の皆様は、近年問題となっている『ゲーム障害』という言葉をご存じでしょうか。ゲーム障害は、ゲームにのめり込み、利用時間などを自分でコントロールできなくなり、日常生活に支障をきたす病気です。

厚生労働省の調査によると、2017年時点で約93万人の中高生が『ネット依存』の可能性があると推定されています。さらに、久里浜医療センターによると、2016年～17年に当センターを受診した『ネット依存』患者の90%がゲーム障害だったと報告されています。

私たちの行動は、脳の前頭前野と大脳辺縁系という2つの領域によって制御されています。前頭前野は主に論理的思考や意思決定をつかさどり、大脳辺縁系は本能や感情をつかさどります。一般的には前頭前野の働きの方が優勢ですが、ゲーム障害がおきると大脳辺縁系の働きの方が優勢となり、本能や感情に支配され、依存状態から抜け出すのが難しくなってしまうそうです。とくに未成年では、前頭前野の働きが十分に発達していないため、ゲーム障害が起りやすく、将来にわたって影響があると考えられています。

お子さんに、「ゲームをする時間がかなり長くなった」「夜中までゲームを続ける」「朝起きられない」「使用時間や内容などについて嘘をつく」「ゲームのことを注意すると激しく怒る」「絶えずゲームのことを気にしている」「ほかのことに興味を示さない」「ゲームへの課金が多い」等の兆候が見受けられる前に、以下の様な対応をとられることをおすすめします。

- 1日のゲームをしてもいい時間やゲームができる時間帯・場所を明確に決める
ルール作りにはお子さんの意向も取り入れる
- ゲームをする時の約束を紙に書いて部屋に貼っておく
- ゲーム以外の現実の生活を充実させる

※NHK健康チャンネルより一部抜粋

明日からの連休を機会とし、お子さんが健やかに生活できるためのご確認・話し合いをされてみてはいかがでしょうか。

また、ご家庭だけでの対応に不安がある場合は、遠慮なく学校までご相談ください。